

育成幼稚園 12月園だより

## さみしいし、うまくいかないし、だからクリスマス

園長 こうち たかし 高地 敬

園では毎日絵本の読み聞かせがされています。『ごんぎつね』という絵本も読まれたのではないかと思います。90年も前のものですが、今でも通用する人間の複雑な思いの込められた作品です。

一人で生きている、いたずら好きのキツネのごん、母親に孝行しようとしてうまくいかなかった兵十(ひょうじゅう)。この一匹と一人がさまざまに関わります。

ごんは、いたずらをしたお詫びに魚を盗んで兵十の家に投げ込みますが、そのために兵十はどろぼうにされて魚屋に殴られたりと、ほとんどすべてがうまくいかない。ごんも兵十も気持ちはやさしいのですが、それが相手に全然伝わらない。そしてとっても悲しい結末となりますが、最後の最後に初めて気持ちが通じておりました。

久しぶりに読んで、「絵本の話だけど、私たちのことだな」と思いました。うまくいかないことが多くて、なんか誤解されてるなど思うことも多くて、だからあきらめてしまうことも多い、そんな私たちの姿が絵本の中に込められています。

神様のお恵みは、何でもたいていうまくいって、困ることも少ないような人ではなくて、ごんや兵十のような人にたくさんあるのかも知れません。それがクリスマスでありましたし、クリスマスの中で伝えられている神様のお恵みでありました。